

程度副詞関連 テキスト論文&設問リスト [2011年度前期]

● 総論

- ① 仁田義雄 1983 「動詞に係る副詞的修飾成分の諸相」, 『日本語学』10月号 vol.2, pp.18-29, 明治書院.

[論文①についての設問 1] 2011/04/22(金)

p.20 上段で、「死ヌ、結婚スル、入ル、着ク、座ル」等は、「結果の副詞を取りえない」自動詞の例として掲げられています。しかし、本文の「動きの結果、主体が状態を変えるものの、状態の変動そのものを表すのではなく、新しい状態を招来する行為を表す」という説明は、これらの自動詞が結果の副詞を取りえないことの原因として必ずしも分かりやすいものではないと思われます。必要であればこれらの自動詞をいくつかのグループに分けて、より分かりやすい説明を考えてください。

[論文①についての設問 2] 2011/05/06(金)

p.20 上段～の「三 様態の副詞」では動きに含まれる側面として〈動きの強さ・烈しさ〉〈動きの早さ〉〈動きの質〉を抽出していますが、これらの三つは峻別できる性格のものではないと思われます。この論文に掲げられている副詞の例の中で、これらのうちの複数の側面を併せ持つと見なし得るものがあれば、指摘してください。

[論文①についての設問 3]

p.28 下段に「時間関係の副詞」の例として掲げられている「一晩中」「ずっと」などについて、意味や機能に基づく下位分類を試みてください。また、「時の状況成分」や「頻度の副詞」に含めた方がよいと思われるものがあれば、その根拠とともに示してください。

● 「まるで」

- ② 小矢野哲夫 1995 「程度副詞としての「まるで」」, 『日本語・日本文化研究』5, pp.1-14, 大阪外国語大学.

[論文②についての設問 4] 2011/05/20(金)

本論文の内容に関する下記の選択肢 1, 2 について、本論文の趣旨に沿って考えた場合に、それぞれ解釈 a, b のうちどちらが適切でしょうか。その根拠とともに示してください。なお、根拠を述べる際には、なるべく本文中の重要と思われる例文(の番号)に言及してください。

1.

a. 「まるで」の程度副詞としての用法は、本論文の第4節～第8節 (pp.3-9) に掲げられて

いる全ての例文（例文1～56）について、大なり小なり認められる。

b. 「まるで」の程度副詞としての用法は、本論文の第4節～第8節に掲げられている例文のうち、一部にのみ認められる。

2.

a. 「まるで」の程度副詞としての用法は、否定形式と共起する「まるで」および比況の「まるで」のいずれか一方または両方に包摂されるものとして捉えられる。

b. 「まるで」の程度副詞としての用法は、否定形式と共起する「まるで」および比況の「まるで」のいずれにも属さない、第3の用法として捉えられる。

〔論文②についての設問 5〕

本論文に掲げられている「まるで」の全ての例文の中で、あなたが容認度に疑問を感じられるものがあれば、指摘してください。

- ③ 今西利之 1998 「副詞「まるで」についての一考察－「ように」と共起する場合－」, 『日本語・日本文化研究』第8号, pp.27-41, 大阪外国語大学.

〔論文③についての設問 6〕 2011/05/27(金)

「4. 副詞「まるで」の有無による意味の変化」の「4-1 タイプ1」のp.31,下から1.8 「まず、現実世界の出来事と…」～p.35,下から1.6 「…その存在が意識される。」に見られる議論について、次のような批判的見解が示されたとします。

批判的見解

例文(23)の「ように」は〈様態〉の用法であり、それに「まるで」を加えた例文(25)の「ように」は〈比況〉の用法とされているが、この二つの例文に意味の違いはほとんど認められない。従って、「ように」についてこの二つの用法を区別する理由が分からない。前者については「現実世界の出来事の直接的な記述」、後者については「類似性の判断に基づく同種の事柄の提示」という説明がなされているが、これらの説明の内容に具体的にどのような違いがあるのか。

本論文の筆者の主張をあなたなりにくみ取った上で、必要に応じてご自分で言葉や例文を補い、この批判的見解に対して筆者を擁護する文章を書いてください。

- 「ほとんど」
- ④ 花井裕 1980 「概略表現の程度副詞－「ほとんど」などについて－」, 『日本語教育』42号, pp.73-85.

[論文④についての設問 7] 2011/06/17(金)

本論文の pp.76-77 「I 一般程度副詞によってその状態の程度を修飾される動詞」に述べられている 1) ~8) の動詞分類を、論文① (仁田 1983) の pp.26-27 「六 程度性の副詞」に述べられている「状態を表す動詞」と「主体状態の変動を表す動詞」という動詞分類と比較して、個々の動詞についての両者における帰属を観察しながら、それぞれの分類の特徴や問題点を指摘してください。

[論文④についての設問 8]

本論文に掲げられている程度副詞の被修飾語が動詞である場合の例(例 25~62)の中で、程度副詞が文中の数量概念を修飾している／していないという筆者の判断に疑問を感じるものがあれば、指摘してください。

- ⑤ 大倉美和子 1985 「「ほとんど」の副詞用法」, 『大阪外国語大学学報』 70(1), pp.55-70.

[論文⑤についての設問 9] 2011/06/24(金)

本論文の「2-1-1. 基準値が明示的な場合」の「(6) 事柄実現の完遂状態を基準値とするもの」には、「動作・変化の終結点が明確な動詞であっても、動詞単独で「ほとんど」と結び付くものと結び付かないものがある。「完成する」は前者の例、「死ぬ」は後者の例で、「……かかる」との共起によってのみ「ほとんど」と結び付くことができる。」(p.63) という指摘があります。「ほとんど完成する」と「ほとんど完成しかかる」にはどのような意味合いの違いがあるか、また「ほとんど」との結び付きにおける「完成する」と「死ぬ」の振る舞い方の違いは何によって生じるのかについて、それぞれと同じタイプの他の動詞の例も提示しながら、簡潔に論じてください。

[論文⑤についての設問 10]

本論文の「2-1-2. 基準値が明示的でない場合」(pp.63-66) に見られる議論について、「基準値」と「極限状況」という用語の使い方も考慮に入れながら、なるべく批判的な検討を試みてください。

- 「やはり」
- ⑥ Maynard, Senko K. 1991 “Discourse and Interactional Functions of the Japanese Modal Adverb *Yahari / Yappari*” in *Language Sciences* 13, 1. pp.39-57 Great Britain: Pergamon Press plc.

[論文⑥]についての設問 11] 2011/07/08(金)

本論文に掲げられている例(2)~(15)では、英訳において「やはり／やっぱり」に対して ‘after all’ か ‘as expected’ のいずれかの表現が当てられています。この二つの表現の意味内容の違いおよび「やはり／やっぱり」の訳語としての適切性について、pp.43-44 に述べられている Textual Knowledge, Social Knowledge, Knowledge for Conclusion, Knowledge for Selection の4分類との対応にも言及しながら、なるべく例に即して論じてください。

[論文⑥]についての設問 12]

p.47, 下から ll.12-6: The strategy to use society’s (assumed) consensus … to support this communicational strategy. の箇所で、筆者は「やはり／やっぱり」と日本語の会話におけるストラテジーとの関連について述べています。こういったストラテジーとしての側面を持つと思われる「やはり／やっぱり」の例を本論文の例(1)~(15)の中から探して、その側面についてあなたなりの説明を加えてください。

- ⑦ 川口良 1995 「副詞「やっぱり(やはり)」の取り立て機能について」, 『国文』 83, pp.11-21, お茶の水女子大学.

[論文⑦]についての設問 13] 2011/07/22(金)

次の二つはいずれもコマーシャルのコピー(宣伝文句)です。それぞれの下線部の「やっぱり」が示唆する語用論的前提は、本論文に掲げられている(1)世間一般の常識・社会通念、(2)話者の主観、(3)客観的状況、のうちのどれに該当しているか、またそれぞれの「やっぱり」は具体的にどのような意味で用いられているかについて、あなた自身の考えを書いてください。

- ① 遠距離通話もやっぱり NTT。(日本電信電話株式会社)
② やっぱり木の住まい、手作りの木の住まい。(全国木材市売買方組合連合) (川口 1993b, p.120)

- 程度副詞の体言修飾
- ⑧ 張麗群 1992 「程度副詞の体言修飾について」, 『日本語と日本文学』 16, pp.左 28-38, 筑波大学国語国文学会.

[論文⑧]についての設問 14] 2014/07/18(金)

本論文の表 1(p.31)によれば、「横」および「向こう」という関係名詞は、いずれも「単なる場所、方向」の意味が認められるかどうか定かではなく(「?」)、「ある事物を基準にしての方

向性」の意味が認められる(「○」)とされています。この筆者の見解について、必要に応じて例文を提示され、「5. 関係名詞「そば」の方向性」(pp.34-36)における議論も参考にされながら、あなたなりに検証を試みてください。

[論文⑧についての設問 15]

「4. 「ずっと」と「もっと」の基準」(pp.33-34)において非文とされている例文(27) b, (28) b, (29) b は、特定の条件のもとでは容認度が高くなると思われます。その条件に言及しながら、本節における議論についてなるべく批判的な検討を試みてください。

- ⑨ 佐野由紀子 1997 「程度副詞の名詞修飾について」、『大阪大学 日本学報』16, pp. 左 121-133, 大阪大学.